

## 人口ビジョン

## <育てる力>集中創生戦略（2015～2019年度の5年間）

### 中長期展望（2060年を視野）

### 基本目標（数値目標、2019年）

### 主な重要業績評価指標（KPI※）

### 具体的な施策

#### I 山武市の人口の状況分析

- ・2060年の総人口は23,402人。  
（2010年56,089人、41.7%に減少）
- ・高齢化率は、2010年25.4%から  
2060年48.5%まで上昇
- ・2014年の合計特殊出生率は、  
国1.42に対して1.10（県は1.32）

#### II 人口の将来展望

##### ◆目指すべき将来の方向

##### ①人口減少問題に取り組む基本的視点

- ・若者を中心に住むことに誇りを持てる  
まちづくり
- ・若い世代の希望がかなう生活環境基盤等  
の整備
- ・健康で暮らせる地域コミュニティの形成

##### ②目指すべき将来の方向性

- ・他地域への就職や都市部への進学によっ  
て転出せざるを得ない若い世代が、再び  
生まれ育った山武市に誇りを持って戻れ  
ることが重要。
- ・転入で新たに市民になる方も、山武市を  
愛して、地域に貢献したいという意識を  
持てる必要がある。

##### ③山武市の将来人口（2060年の人口を試算）

##### ○出生率

- ・2020年に1.60、2030年に1.80、  
2040年に2.07（国準拠）と仮定

##### ○社会移動

- ・上記出生率で現状推移：29,129人
- ・加えて、2020年から2025年の間に、  
20代の社会移動が改善  
（社会移動が半減）：30,919人

#### 1 地域の魅力と誇りの創生 【シティプライド】

- ◆年間観光客入込数  
2,076千人(H26)→2,200千人(H31)
- ◆転入転出者数  
△391人(H26)→△150人(H31)

オリンピック・パラリンピック事業実施数（累計）  
1件(H26)→18件(H31)

市民活動や地域活動をするための活動の場  
（施設）の新規整備数（累計）  
—施設(H26)→2施設(H31)

NPO法人、市民活動・ボランティア団体数  
168団体(H26)→170団体(H31)

基幹バスの年間利用者数  
41,369人(H26)→41,000人(H31)

乗合タクシーの年間利用者数  
51,036人(H26)→51,000人(H31)

##### 1-1 オリンピック・パラリンピックを契機とした 交流プログラムやスポーツツーリズムの振興等による 地域の魅力創造

- ①オリンピック・パラリンピック事業の実施
- ②国際交流組織の設立
- ③ダンス事業を基軸としたスポーツによる賑わい創出

##### 1-2 「小さな拠点」を形成する地域コミュニティの 担い手育成

- ①「小さな拠点」の形成を目指した市民活動施設の整備
- ②市民活動の活性化によるまちづくり

#### 2 グローバル人材を育てる力 の創生【教育】

- ◆英語検定4級以上を取得している  
中学生の割合  
13.9% (H26)→50.0% (H31)

外国語コミュニケーション講座への参加者数（累計）  
—人(H26)→250人(H31)

海外派遣事業応募者数（累計）  
26人(H26)→220人(H31)

##### 2-1 幼児期から一貫した英語教育によるグローバル 人材の育成

- ①青少年の外国語学習機会の確保
- ②市内高校を地域で支える体制づくり

##### 2-2 スリランカ等との国際交流機会の増大による グローバル人材の育成

- ①スリランカ等との交流
- ②高校への海外留学生受入支援
- ③国際交流組織の設立（再掲）

#### 3 出産・子育て支援及び高齢者福祉の 担い手を育てる力の創生【医療・福祉】

- ◆合計特殊出生率  
1.10 (H26)→1.60 (H31)
- ◆65歳から74歳までの高齢者で介護認定  
を受けずに生活している高齢者の割合  
95.9% (H26)→96.9% (H31)

松尾高校との連携等事業数  
1件(H26)→3件(H31)

各種子育て相談延べ件数  
842件(H26)→1,000件(H31)

市内産科医師数  
1名(H26)→4名(H31)

##### 3-1 松尾高校SGHと連携した世界的な高齢者福祉 モデル地区とするための人材育成の支援

- ①松尾高校SGHへの支援
- ②城西国際大学と連携した市内高校のキャリア教育支援
- ③市内事業者へのEPAによる看護・介護人材の受入支援

##### 3-2 安心して子育てできる環境づくりと産科医を はじめとする地域医療を支える人材の育成・確保

- ①安心して子育てできる環境づくり
- ②地域で安心して産み育てられる環境の充実

#### 4 地域経済を育てる力の創生 【産業、成田空港経済圏】

- ◆市内事業所従業者数  
15,346人(H26)→15,500人(H31)
- ◆従業員一人当たりの製造品出荷額等  
（4人以上事業所）  
3,552万円(H26)→3,560万円(H31)

エコノミックガーデニングの研究テーマ数  
—件(H26)→8件(H31)

成田空港圏での共同事業数  
3件(H26)→7件(H31)

年間観光客入込数（再掲）  
2,076千人(H26)→2,200千人(H31)

##### 4-1 エコノミックガーデニングによる市内中小 企業・小規模事業者の育成

- ①エコノミックガーデニングの推進
- ②農商工連携を基軸とした産業の振興

##### 4-2 地域間連携を通じた成田空港経済圏の形成

- ①成田空港を核とした地域の繁栄
- ②インバウンド需要を取り込んだ着地型観光の推進
- ③成田空港等に必要の人材の育成